

2024/9/25 (水)
インターネット世界旅行

インターネット世界旅行

モンゴル

(前半)

下記の資料を、参照して作成しました。

[大草原の国・モンゴルのおすすめ観光スポット18選！知られざる絶景からユニークなアクティビティまで厳選 | TABI CHANNEL](#)



吉岡 芳夫

モンゴル



モンゴルといえば、雄大な大草原とゲル、チンギス・ハーンが思い浮かぶが、近年では、大相撲の強豪力士を輩出している国としても知られている。

それでもまだ馴染みの薄い国で、旅行先としてモンゴルを訪れようとする人はあまりいない。

ただ、一度モンゴルに足を運んだら、その奥行きが深い魅力にどっぷりハマってしまうはずだ。

正式名称は「モンゴル国（Монгол Улс）」

- モンゴルの社会主義体制を放棄した1992年からこの名称が用いられている。
- 国土面積は日本のおよそ4倍。
- 人口は希薄で、300万人程度～日本の40分の一。
- 人口密度も1km²あたり1.87名しか住んでいない。
- 国民のほとんどがモンゴル族であり、その他カザフ系の少数民族も。
- 「外モンゴル」とよばれるモンゴル国の南には、同じ文化圏の「内モンゴル（内蒙古）」があり、現在は中華人民共和国の領地となっています。

モンゴルと言えば

モンゴル料理



モンゴルの料理は羊が
主役、ほかには、羊の
乳で作られるヨーグル
ト、豆腐など。

ゲル（移動式テント）



広さは直径4.5～6.5mほど、
内部は意外と広々。90分程
度で組立・解体が可能。冬
場のマイナス20℃以下に耐
えられる設計。

チンギス・ハーン



モンゴルの英雄。有力な首長と
して周辺の部族を服従させ、
1206年にモンゴル全土を統一。
最盛期には中国、ヨーロッパも
含め、日本とは孫・フビライに
よる「元寇」が知られている。

チンギスハーン国際空港



成田空港から、首都・ウランバートルへは、約5時間30分で到着します。時差は1時間。入国は、複雑な手続きは必要なしです。

首都ウランバートル



首都ウランバートルには、国民の半数以上が暮らしています。標高1,350mの高地にあり、周囲を山々で囲まれた盆地となっています。夏場の気温は40°C近くまで上がり、真冬にはマイナス40°Cまで下がる過酷な環境です。

首都ウランバートルの観光

1. チンギス・ハーン広場
2. ガンダン・テクツェンリン寺院
3. ボグド・ハーン宮殿博物館
4. ザイサン・トルゴイの丘
5. モンゴル国立民族歴史博物館
6. ノミンデパート
7. ナラントール・マーケット

チンギス・ハーン広場



石畳が美しい広大な空間で、周囲には政府宮殿や郵便局、証券取引所が立ち並び国家の中枢を担っています。

モスクワの「赤の広場」と同じように、共産主義の政権下では政府の重要行事が開催された場所でした。

現在ではウランバートル市民の憩いの場として、多くの家族連れやカップルで賑わっています

ガンダン・テクツェンリン寺院

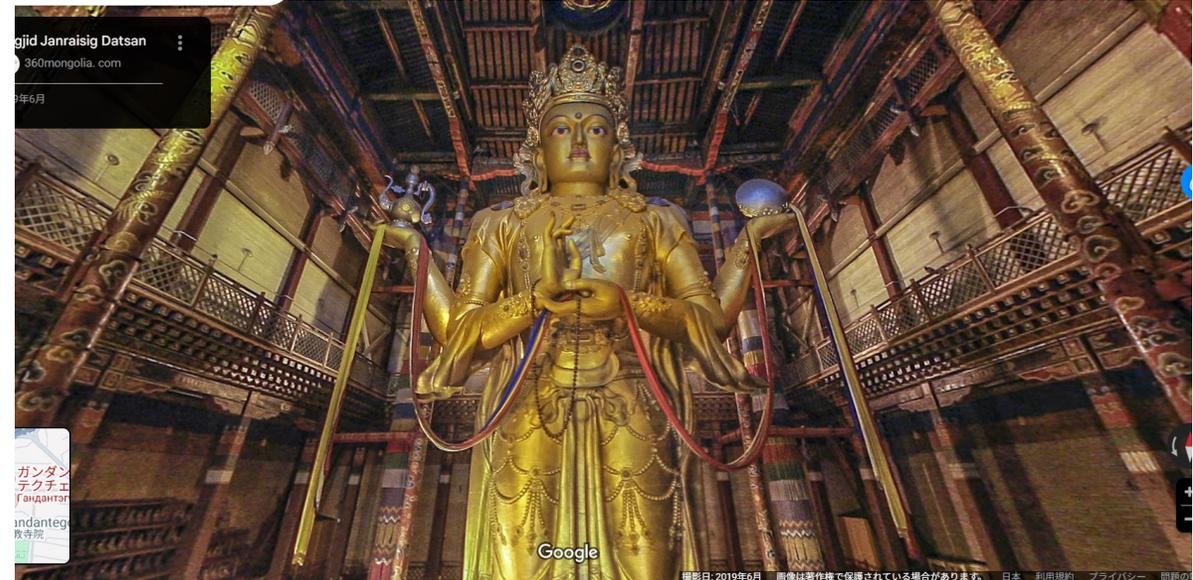
モンゴルで最も信仰されているチベット仏教の名刹で、国民に深く尊崇されている寺院です。

共産主義体制下で唯一宗教活動が許された寺院でもあり、チベットの最高指導者・ダライラマ**14**世も度々説法に訪れています。

ガンダン・テクツェンリン寺院は、清朝**5**代皇帝・雍正帝によって**1793**年に創建されたのが始まりです。

古くから信仰されてきましたが、スターリン主義下の共産政権によって受難を迎えます。

ガンダン・テクツェンリン 寺院



ボグド・ハーン宮殿博物館



ボグド・ハーン8世（1869～1924）は、モンゴル最後の皇帝でした。チベットのダライラマと同じように、「輪廻転生」によって化身ラマとなり、1924年に死去するまで帝位を保持しました。

ボグド・ハーン宮殿博物館は、ボグド・ハーンの冬の宮殿を改装したもので、木造の寺院のような外観が特徴です。

冬の宮殿のほか、夏場に法会を行った寺院や本堂など7つの建物で構成されています。

1961年に博物館として一般公開されました。

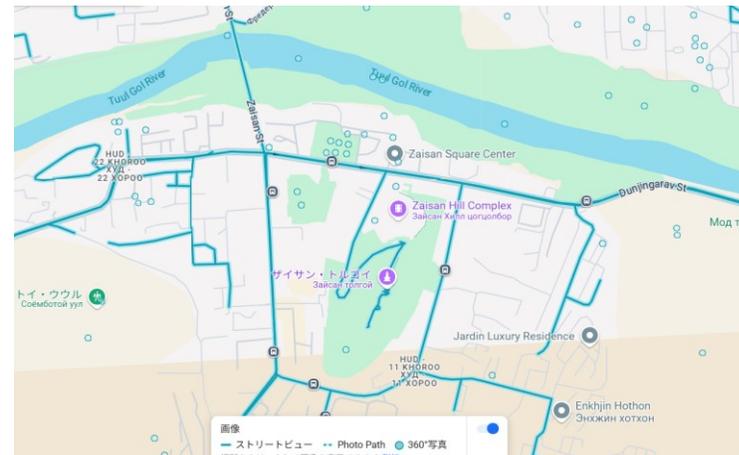
博物館の内部



博物館内には、モンゴル仏教の最高権威者と国家元首を兼ねたボグド・ハーンが多様な功績を称える、多くの展示物が陳列されています。繊細な細工が施された仏画や、クロテンで作られた正装服、ロシア皇帝から贈られた銀の食器など、見どころたっぷりです。中でもボグド・ハーンが25歳の誕生記念に贈られた、150頭のユキヒョウの毛皮で作られたゲルは圧巻で、一見の価値があります

ザイサン・トルゴイの丘からの眺め

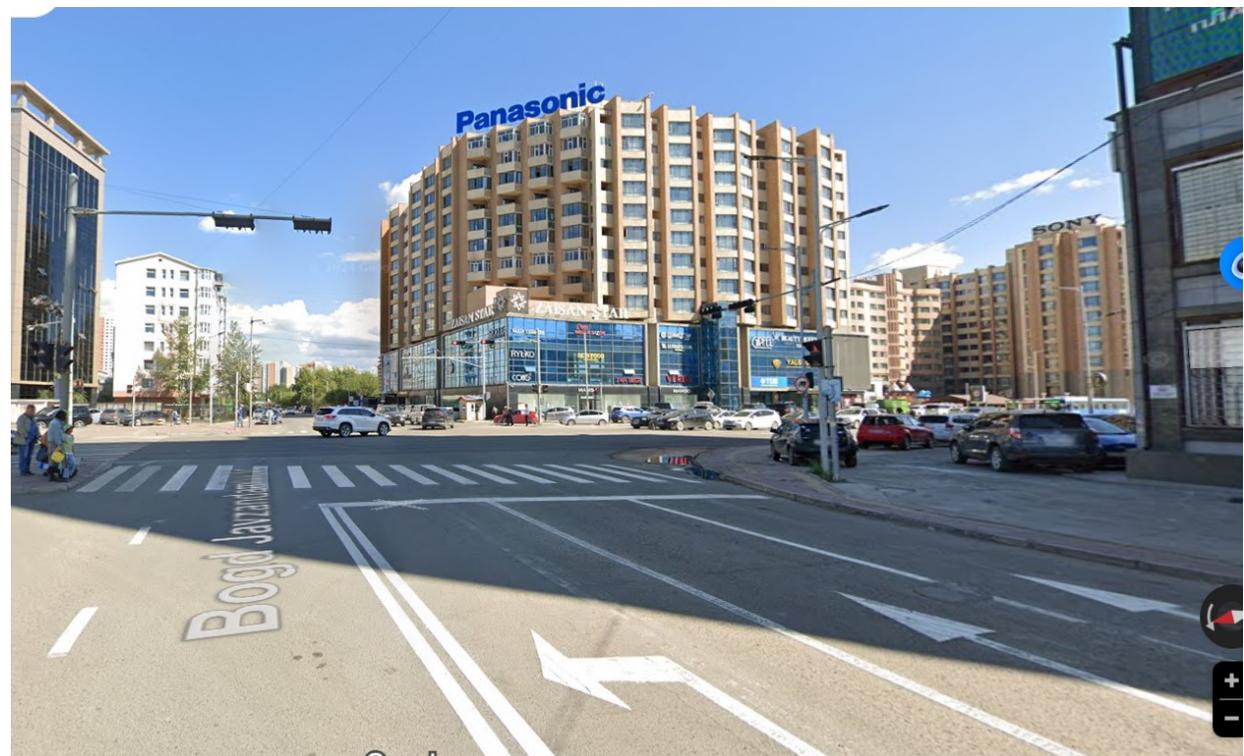
[ザイサン・トルゴイ - Google マップ](#)





河は、冬は凍結

市内の様子



モンゴル国立民族歴史博物館



モンゴル史をたっぷり勉強できる博物館が、「モンゴル国立民族歴史博物館」です。

古代史の匈奴や突厥、モンゴル帝国の興亡や社会主義体制下に至るまで、この国が辿った歴史はとても興味深いものがあります。

この博物館では、モンゴルの原始時代から現在に至るまでの歴史を、50,000点を超える膨大な展示物を通して学ぶことができます。

ノミンデパート



ウランバートルの目抜き通りにある「ノミンデパート」は、モンゴル最大級の老舗デパートです。

社会主義時代の**1921**年に創業した国営デパートが前身で、今では地元財閥のノミングループが経営しています。

重厚で威厳のある外観のノミンデパートは、品揃えがとても豊富です。

日用品のほか、家電やアパレルなど、欲しいものはすべてこのデパートで調達できます。

ナラントール市場



ナラントール・マーケット（ザハ）は、モンゴル最大の露天市場です。

生活に必要なものだけでなく、とてもレアで怪しいものまで販売されており、テーマパークのような感覚でショッピングを楽しめます。

生活必需品といってもゲルの用具や馬具など、日本人観光客には珍しいアイテムがずらり。珍獣が売っているペットコーナーや、奇妙な骨とう品、怪しい食材など...混沌としており、散策するだけでも面白いです。